

サッカーマガジン
タイムマシン

～時空を超えた、サッカーの旅へ～

史上初の両ステージ制覇した
高原がMVP&得点王のダブル受賞

Jリーグ10年目となった記念すべき年に
行われた2002年のJリーグ・アウォーズ。
この年のJリーグ・ベストイレブンには、
史上初の両ステージ優勝を成し遂げたジュ
ビロ磐田から7人が選出され、まさに青一
色となった。

そのチームを前線でけん引した若きエー
ス高原は27試合で26得点を挙げて得点王
に輝くとMVPにも選ばれた。ダブル受賞
は、その当時、98年の中山雅史に続く2人
目。その後もアラウージョ（05年）、マル
キーニョス（08年）と、これまで4人しか
達成していない快挙だ。

この年の高原は日韓共催のワールドカッ
プを直前にエコノミー症候群に倒れ、大会
出場を断念。その悔しさをバネに代表から

クラブへ気持ちを切り替えると、驚異的な
パフォーマンスで次々とゴールを挙げて、
チームに勝利をもたらした。このシーズン
を最後に高原は磐田を離れ、ハンブルク
（ドイツ）へ移籍。4年後のドイツ・ワー
ルドカップへ向けて、新たな挑戦をスタ
ートさせた。

それから7年。12月7日に行なわれた
09年のJリーグ・アウォーズでは、同じく
磐田の前田遼一が得点王に輝いた。惜しく
もダブル受賞とはならなかったが、日本人
得点王は高原に続く5人目（中山は2回受
賞）。長く外国人選手たちが首位の座に立
っていたが、今年はシーズン中に外国人選
手たちが移籍したことも手伝って、7年ぶ
りの日本人得点王となった。

1966年に日本で最初のサッカー専門誌として
スタートしたサッカーマガジン。
日本サッカーの発展とともに、歴史に刻み続けてきた
1200号を超える誌面には、サッカーへの情熱が記されている。

今週のPLAY BACK

2003年1月8日&15日号

Contents

クリスタル・アワード2002

06年ドイツW杯アジア枠4・5に

年末年始 読みもの特集

パロンドール受賞記念/ロナウド

帰ってきた妖精人語 ストイコビッチ



2010年ワールドカップ特別連載

在南ア日本大使館
領事がつづる
南アフリカ通信

Vol. 23

文・写真◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、あと177日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

●「初戦の地、ブルームフォンテンはこんなところ」●



▲ブルームフォンテンの西に
あるキンバリーの大穴。ダイヤ
モンド探採のために掘られた

今回は、日本代表の初戦の地であ
るブルームフォンテンを紹介し
よう。
南アは三権分立の国であり、非
常に徹底している。三権がそれぞれ
別の都市に存在しているのだ。国
会がケープタウン、行政府はプ
レトリア、そして最高裁判所がブ
ルームフォンテンにある。ちな
みに、ブルームフォンテンとそ
の周辺都市を含めてマンガウング
と呼ぶ。日本の政令指定都市のよ
うなのだ。ここは南アのほぼ中
央にある。裁判所という公平性が
必要な機関を置くに相応しいこ
ろだ。
試合会場はフリーステート・ス
タジアム。4万8000人収容だ
が、現地のホテル収容数は3万8
000人と書かれている。団体客
はヨハネスブルグから観光バスで
5時間ほど揺られた後に観戦し、
また同じ道を帰ることになるだろ
う。小さい民営などに泊まる分
個人旅行者の方が楽かもしれない。
閑静な都市であり、治安もさほ
ど悪くはないが、夜に出歩くこと
はお勧めしない。食事に行くなら
車でレストランまで移動しよう。
気候は、ヨハネスブルグと同じ
く内陸で高地にあるため、冬は寒
い。W杯の時期の平均最低気温は
マイナス2度。日本代表の試合は
午後4時にキックオフだが、日暮
れとともに冷え込んでいくので、
応援にはダウンジャケットが必要
だろう。ちなみに、晴れの日が多
いので、日焼け対策も忘れずに。
この都市の西には、人力で掘つ
た世界最大の穴、キンバリーがあ
る。ダイヤモンドを探す人々が
ヤベルだけで掘った穴だが、人間
の欲深さを象徴する跡だ。博物館
が併設されており、一見の価値は
ある。東に行けばレント王国があ
る。アフリカには珍しい、王様を
いただく立憲君主制の独立国だ。
国境付近には、スキー場がある。
天候が許せば天然雪で滑走でき
る。人工雪の施設もある。土産話
に一掃りどうだろう。
この地域は高地で、都市が小さ
く、空気が澄んでいるせいか、降
るような星空を堪能できる。市
中では防犯灯が多くて難しいが、郊
外に泊まる場合にはぜひ試してほ
しい。うまくいけば、天の川が見
えるはずだ。空を見上げて星が密
集しているところに、うすく乳を
流したように見えるのが天の川。
英語ではミルキーウェイという。
筆者は2年前に初めて見た。感動
して思わずため息が出た。

著者プロフィール ●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html

鹿島、J3連覇達成記念
Jリーグ杯やユニフォームを展示
選手へのメッセージも募集

NIKEフラッグシップストア原宿3FのNIKE
Bootroomにて、鹿島のJリーグ3連覇達成
を記念し、Jリーグ杯やユニフォームを特別展
示。さらに、選手たちへのメッセージを募集
しています。専用ポストカードにメッセージを記
入して投函すると、NIKE原宿特設スタジア
ムボードに掲出されます。また、メッセージの
中から抽選1名に、全選手サイン入りユニフ
ォームが当たります。

このカードは、鹿島アントラーズオフィシャ
ルショップ、またはNIKEフラッグシップストア
原宿で入手可能です。
※事情により内容に変更・中止の場合があ
ります。予めご了承ください。



応募期間：12月20日まで
(プレゼント対象期間は12月
18日到着まで)

▷公式HP
NIKE原宿
nikeharajuku.jp

▷お問い合わせ
ナイキお客様相談室
0120 (500) 719

JAPANサッカーカレッジ&
アルビレックス新潟・S
合同セレクション実施

シンガポールリーグに参戦しているアルビレックス新潟・シンガポールと
アルビレックス新潟の育成組織であるJAPANサッカーカレッジが、合同
でセレクションを開催します。これまでの実績は問いません。プロを目指す
強い意志を持った選手を求めています。

対 象：18歳以上
時 間：12月21日(月) 12時半～15時半
会 場：フクダ電子スクエア
選考費用：5000円 (保険料込み)
合格特典：アルビレックス新潟・Sとの契約、もしくはJAPANサッカーカレッジへ
の入学(優秀選手には学費免除あり)
申込方法：電話、メール、公式HPから
(エントリヤーには詳しい情報をお知らせします)

▷お問い合わせ
JAPANサッカーカレッジ
0120 (731) 211
E-mail: cups@nsg.gr.jp
公式HP: <http://www.cupsnet.com>

「サッカーで、アフリカの子供らを
助けたいねん！」(主催：NPO法人レーヴェン)
1月10日に第二弾！

11月28日、29日、神戸レガッタ&アスレチッククラブで、多くのJリーグ選手
のほか、神戸国際大学ブルーリ濱崎問題支援プロジェクトら多数の協力の
もと、24時間インドアサッカーおよびチャリティオークションが開催されまし
た。試合結果はチーム春夏(1月～6月生まれ)が、433対431でチーム秋冬
(7月～12月生まれ)に勝利しました。チャリティオークションの収益金は、
WHO(世界保健機関)のブルーリ濱崎問題支援プロジェクトへ寄付されます。
また「サッカーで、アフリカの子供らを助けたいねん!第二弾」として、1月10
日(日)に神戸国際大学にてチャリティイベント
を予定しています。



▷公式HP <http://levenkansai.p1.bindsite.jp/>

アディダス
プレミアムミニボール
Ver. 2010

欧州サッカークラブシーンにおい
て、最も権威のある国際大会使用
球と欧州人気クラブ5チームをイメ
ージしたレプリカボールが堂々登場。
サッカーイヤーの幕開けにふさわし
い逸品です(全6種、ボール全長約
13センチ)。全国のゲームセンター
のUFOキャッチャーで入手可能です。



◎「アディダスプレミアムミニボール
Ver.2010」を5名様にプレゼントします。
ご希望の方は、90ページの応募要項に
沿って「アディダスプレミアムミニボ
ール Ver.2010」係までご応募ください。
なお、当選者の発表は発送をもって代
えさせていただきます。

▷お問い合わせ
株式会社 セガ
プライズユーザーサポートセンター
0120 (680) 043
10時～12時/13時～17時(定休日を除く)
E-mail: prize@sega.co.jp
▷公式HP
<http://segaprize.com/>

adidas
「EVERY TEAM NEEDS...
SUPPORTERS 参戦セヨ。」

サッカー日本代表オフィシャルサプライヤーのアディダス ジャパンは、
2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会に向けて、SAMURAI BLUE
(サッカー日本 代表)の「応援の輪」を広げる新しいモバイル・コミュニ
ケーションツールadidas「EVERY TEAM NEEDS...SUPPORTERS
参戦セヨ。」(www.adidas.co.jp/JFA)を開始しました。

モバイルサイトにアクセスし登録することで、サッカー日本代表ジャ
ーを身にまとった自分の分身キャラクターの「アバター」をつくること
ができます。登録時に自動生成されるQRコードを使って、会員登録した
仲間をアバター交換ができ、ミニブログ感覚のチャット&ライブコミュニ
ケーションが可能です。



▷お問い合わせ
アディダス ジャパン アディダスコール
0120 (810) 654<電話受付9時半～18時>
アディダス ウェブサイト: www.adidas.co.jp/JFA

